

国内短期留学（片山学園高等学校）

令和3年12月9日（木）から10日（金）に、「総合的な探究の時間」校内発表における上位入賞者8名が、富山県の片山学園高等学校への国内留学に派遣されました。

心のこもった歓迎に感激しました。全教科で展開される「探究」活動や、片山学園の生徒達に大いに刺激を受け、各授業に積極的に参加しました。両校で共有した目的の「他者との関わりを通して自己を知り、高める契機とする」を、見事に達成しました。

国内留学の様子は地元テレビ局でも取り上げられました。下記URLからご覧ください。

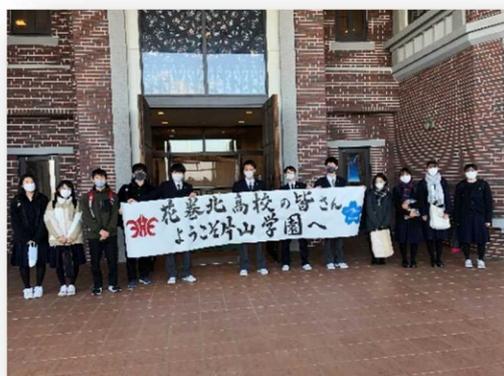
<https://www.fnn.jp/articles/-/283491>

片山学園のホームページでも本事業について紹介いただいています。片山学園のホームページURLはこちらです。

<https://www.katayamagakuen.jp/>



美しい立山の山々に抱かれる片山学園の校舎。映画のロケに使われたこともあるそうです。



寒い中、片山学園の生徒さんに迎えていただき、移動の疲れも吹っ飛びました。

片山学園1年生と2年生の生徒の皆さん、先生方に迎えられた歓迎式では、本校の生徒会長・佐々木芽依さんと、片山学園高等学校の生徒会長・東山隆さんがそれぞれ代表挨拶をしました。

歓迎式後、新設された国際科学探究(GSI)コースの教室に移動しました。自己紹介のあと、ご当地クイズや川柳クイズで打ち解けました。2時間目は「英語」の授業。ネイティブの先生を中心にしたアットホームな雰囲気の中で、ペアで英語による自己紹介を行ないました。その後、クラス全体に向けて相手の紹介を行ないました。アイデアをひねり出しながら英語で話す難しさと楽しさを実感しました。



「古典」の授業では、J-POPのミュージックビデオにヒントを得ながら、和歌の序詞の効果を考えました。画像と和歌を組み合わせ、和歌の世界観をスライドにまとめ、発表しました。その後改めて独自の「序詞の定義」を明文化し、さらに「言葉と心の関係」を考えるなど、段階的に高いレベルの学びを体感しました。

下の画像は作成スライドの例です。

スライド①



スライド②



スライド③



スライド④



①と②のスライドで序詞の効果を表現し、主意のイメージカラーをグループで話し合い、決定してスライドにしました。最後のスライドは和歌全体のテーマや世界観をまとめました。

「数学」の授業でのプレゼンテーション



自分を知り、他者を知る「体育理論」



「答えを出すのが大変な問題」をピックアップし、もっとスマートに解く別解を探す「数学」の授業。エゴグラムで交流分析し、自分自身を知り、他者を知ることでコミュニケーション能力を高め、自己をコントロールするスキルを養うことを狙いとした「保健体育(体育理論)」の授業。「所有と人間」について問いを立て、自分たちの考察をまとめる「現代文」の授業。毎時間、どの教科でも「探究」が行なわれていました。

そして重力加速度の大きさ(g)を測定する実験の提案を行なう「物理基礎」の授業では、すでに行われた実験レポートを分析し、よりよい実験方法をグループで議論し発表しました。ロジックツリー、データ読み取り、考察法など、物理だけでなく今後の課題研究に生かせる手法も学びました。



最終日は 2 日間の振り返りをし、みんなで記念撮影。最後は何と個々の生徒が色紙をいただきました。

玄関では1年生の皆さんが、ベランダからは2年生の生徒さんが身を乗り出して、バスの出発まで大きく手を振ってくれました。コロナ禍にも関わらず、国内留学生を温かく受け入れていただき、本当にありがとうございました。

放課後の時間を利用して、「富山市役所」、「富山市ガラス美術館」、「池田屋安兵衛商店」を見学し、見聞を広めることができました。移動日の11日は、富山の海の幸をたっぷり味わいました。



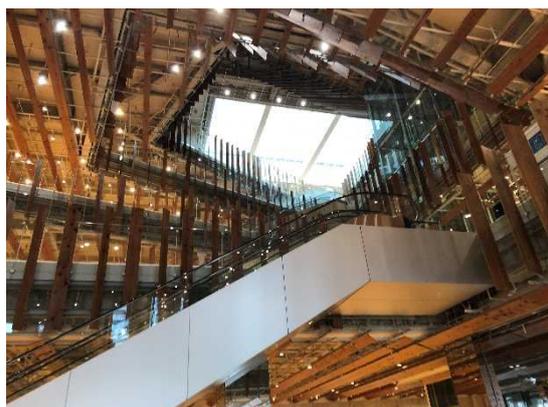
12月8日の夕暮れ時に富山駅前に到着



12月9日 富山市役所展望台からの眺望



12月11日「富山の薬売り」の歴史を伝える池田安兵衛商店で薬づくり体験



12月10日 富山市ガラス美術館内



12月9日 片山学園バス停前にて

本事業は県教育委員会岩手県探究プログラム(岩手県版SSH)の一環として実施しました。感謝申し上げます。今回の国内短期留学の実施に係り、ご理解ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。